

「かしこく たくましく ゆたかで たすけあう子」

文責 林田

全校朝会がありました(10/12)

2学期初めて、運動場に運動会での全体集合の隊形で全校児童が集まりました。楠本先生から整列の仕方や話の聞き方の指導があり、私の方から次のように話しました。

運動会が迫ってきました。運動会について5つ質問します。

- 1.運動会は、いつありますか。
- 2.運動会は、どこでありますか。
- 3.運動会では、どんなことをしますか。
- 4.運動会の練習は、頑張っていてやっていますか。
- 5.運動会のテーマは何ですか。

今年も下益城城南中学校の運動場で行います。

10月30日(土曜日)に実施します。

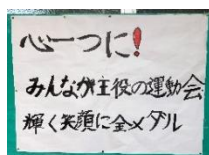
昨日1年生は「運動会のめあて」について考えていました。6年生は体育館で「組体操」の練習を行っていました。1年生は初めて



の運動会、6年生にとっては最後の運動会。みんなが主役の運動会です。それぞれの役割を果たし、運動会まで練習を頑張って、少しでもできるようになった、一生懸命頑張ったという思いで運動会当日を迎えてほしいと思います。2年生3年生4年生5年生は先輩や後輩たちが創り上げた伝統と一緒に引き継ぎ運動会に向け頑張りたいと思います。・・・このあと・・・菘手先生からあいさつについての話がありました。9月に引き続き10月の生活目標も「自分から、気持ちのあいさつをしよう」という事で、あいさつの手本となる3人の人たちに実際にあいさつをみんなの前でやってもらいました。挨拶の前に名前を付け、大きな声で、遠くからあいさつしてくれました。

体育主任の松本真一先生から運動会の取り組みについて話がありました。企画委員会の人たちが運動会のテーマについて説明をして、みんなで読み上げました。そして、応援団のリーダー赤団「藤原令那さん」白団「佐藤紗華さん」総団長「渡邊朝妃さん」を紹介していただきました。

隈庄小の一人ひとりが積極的に取り組む素晴らしい運動会にしてほしいと思います。



剣道と私 ④

今年、東京を中心にオリンピック・パラリンピックが開催されました。多くの人たちが、感動し、様々な競技で活躍している人たちを応援したことだと思います。

剣道はオリンピック・パラリンピックの競技種目にはありませんが、武道として世界へ普及しています。国内では毎年、秋に全日本剣道選手権大会(天皇杯)が行われます。各都道府県1名の代表選手が日本武道館で試合を行います。この大会で優勝することは、名誉なことであり誇りでもあります。

私の高校の剣道の先生は、高校教師1年目23歳で第24回全日本剣道選手権大会で優勝されました。先生の名前は右田幸次郎といいます。当時は、2連覇する人がいなかったため、2連覇をするため凄まじい練習をされていました。そういう中で、部活動の監督をされていたので、その指導も凄まじかったように思います。2連覇をかけた試合は残念ながら、3位という結果でしたが、テレビに映る先生の試合を正座して応援していました。

その後、右田先生は若くして8段を取得されました。日本は剣道普及のため高段者の先生たちを講師として世界各国に派遣しています。右田先生も外国へ剣道の講師として派遣され、多くの国々で指導されていました。外国の剣道について右田先生と話す機会があり、各国での普及活動の様子を聞くことができました。先生の話では「外国では、とにかく、日本の剣道に対する興味や関心が高く、剣道の実技はさることながら、講義をしていても、全てを吸収しよう、一言一句聞き漏らさないようにしようという熱い志みたいなものが伝わってくる」ということでした。また、外国では日本から剣道の先生が教えにくるということで新聞やテレビに「サムライがやってくる」と報道されるということでした。「日本と違う環境になると、今まで感じなかったことを改めて感じさせてくれることにも気づく機会となった」と話されていました。

本物の剣道としての日本文化を伝えることや剣道に魅了される剣道家を数多く輩出することが日本として大切だと感じています。